

小委員会名	環境修復事業マネジメント研究小委員会	
テーマ名	土壌汚染により流動化できない土地等に対し、PFI等のマネジメント手法導入の研究	
①研究目的	土壌汚染の発覚により土地の流動化ができない土地について、例えばPFI等のマネジメント手法を導入した場合の効果等を研究し、有効な土地活用の方法や新事業創出の可能性等を提案する。	
②成果概要 ●中間 ○最終 (該当に●)	<p>◎定期研究会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第21回研究会 (2010/2/24 実施) ・第22回研究会 (2010/3/29 実施) ・第23回研究会 (2010/4/22 実施) ・第24回研究会 (2010/5/17 実施) ・第25回研究会 (2010/6/16 実施) ・第26回研究会 (2010/7/21 実施) ・第27回研究会 (2010/8/20 実施) ・第28回研究会 (2010/9/29 実施) ・第29回研究会 (2010/10/22 実施) ・第30回研究会 (2010/11/12 実施) ・第31回研究会 (2010/12/9 実施) ・第32回研究会 (2011/2/1 実施) ・第33回研究会 (2011/2/25 実施) <p>以上のように、2010年2月から2011年2月までに、合計13回(概ね月1回)研究会を開催した。内容は主にPFI及び「ブラウンフィールド」問題に関する討議であった。</p> <p>◎中間研究報告書について 2010年4月に中間研究報告書を作成した。</p> <p>◎アンケート調査について マスメディア(環境新聞社)に協力を求め、豊洲(築地市場移転)問題について土壌汚染に関する意識調査を行うため、その当事者に対しアンケートやインタビューの準備を進めていた、しかし、この問題は単純では無い事がわかり、強行に実行した場合研究メンバーを含め社会に多大な迷惑を引き起こす恐れがあると判断し断念をした。その代わりに、主に土木学会関係者を対象とした土壌汚染に対する意識調査を実施した。現在、一般国民向けのアンケートを実施している。</p> <p>◎現場見学会について 第25回研究会では、岩手県環境生活部にご協力をいただき、二戸産業廃棄物不法投棄現場の環境修復工事の見学をさせていただいた。</p>	
③研究期間 進捗度	2008年 6月～ 2011年 6月(研究開始から 3年目) ○予定より進んでいる ○ほぼ予定どおり ●予定より遅れ気味(該当に●)	
④研究体制	小委員長	下池季樹(国際環境リユージョンズ)
	副小委員長	三村卓(西武建設)
	主要メンバー	松川一宏(小泉環境事業部)、尾崎哲二(アサヒテクノ) 佐鳥静夫(ミヤマ総合研究所)、角南安紀(日建設計ビル) 田中宏幸(鴻池組)、野口政明(テクノインターナショナル)
	小委員会委員数	8名
⑤発表実績	2010年度は特になし。 ・ 成果発表会 ・ 全国大会	